

施設解体に伴う地下貯蔵タンク洗浄作業中の爆発事故概要

(札幌市消防局殿情報提供)

当該給油取扱所は、平成16年5月から営業を休止中であった。

平成16年8月30日(月)13時26分頃、給油取扱所の解体に伴い、地下貯蔵タンク(レギュラーガソリン 30,000Lタンク)を洗浄中、地下貯蔵タンクに残留していたガソリンベーパーが何らかの火源により引火、爆発し、キャノピーの天井の一部を破損した。なお、タンク清掃会社の社員のうち、タンク内洗浄中の1名とタンクマンホール直近にいた1名の計2名が重傷を負った。

この時の作業内容は、各地下貯蔵タンクの底部に少し残っていた油を抜き取り、洗浄剤の注入及び抜き取り作業を2回実施した後、送風機により可燃性蒸気等を排出し、1名がマンホールからタンク内に入り、ウェス等による拭き取り作業を実施中の事故である。